第24回 土木系学生によるコンクリートカヌー大会

【 カヌー製作規定 チェックシート 】

※ 大会前日までに、規定を満足している項目に □ を付け、問１～問４のカヌーに関する質問の回答を記入して下さい。大会当日開会式前に行うカヌー規格審査のときに、この用紙を持ってカヌーの傍で待機し、各校のカヌーに巡回する審査スタッフに提出してください。

学校名： カヌー名：

確認日： 確認者氏名：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | コンクリートカヌー製作規定などのチェック項目 |  |
| 1 | 大会で使用するカヌーは今年作成した。 | □ |
| 2 | カヌーの主材料は、セメント系複合材料であり、既製品ではなく、各自で練り混ぜたものを使用した。 | □ |
| 3 | カヌーの内面のどこかで、主材料が何か分かる。 | □ |
| 4 | カヌーの長さは４ｍ以下，幅は1.5m以下である。重さ150kg以下である（大会に参加するメンバーで持ち上げられる）。 | □ |
| 5 | カヌーはオープンデッキタイプであり、クルー２名が乗船するスペースがある。 | □ |
| 6 | カヌー内側などクルーが触れる部分に、鋭利なところはない。 | □ |
| 7 | 補強材について以下を満足している。・ 開口部を有さないシート状のものは使用していない。・ ネット状の補強材を使用した場合について、主材料が瞬時に通過できるような十分な開口がある。・ 補強材は、主材料で完全に覆われている。・ 補強材を、樹脂等でカヌー表面に接着していない。 | □ |
| 8 | シート系の防水材をカヌーに貼り付けていない。 | □ |
| 9 | カヌーが沈没や転覆しないことを実際に確認した。あるいは安定計算を行った。 | □ |
| 10 | カヌーの内部あるいはデッキに十分な体積の浮力体を、簡単には外れないように取り付けた。内部を水で満たしてもはずれないことを確認した。 | □ |
| 11 | 船首及び船尾に引き上げ用ロープを固定できる金具を取り付けた。 | □ |
| 12 | ブイ（ウキ）を船首と船尾の２箇所に設置した。このブイは、容積２リットル以上の空のペットボトルを使用し、長さ６メートル以上の十分に強度のあるロープや紐で艇としっかりと固定した。 | □ |
| 13 | カヌーに取付けられた全ての部材は、走行時または沈船時にカヌーから外れないように取り付けた。また，ボルトなどで取り外し可能な部材は，それ自体が水に浮く｡ | □ |
| 14 | パドルについて以下を満足している。・ パドルは手作りである。・ パドルをカヌーに固定していない。・ パドルは長期に使用しても沈まない。・ 力を入れて漕いでも、パドルは破損しない。 | □ |
| 15 | カヌー紹介のプレゼンテーションパネル(A2×1枚)を作成した｡大会に持参した。 | □ |

問1　粗骨材を使用し、細骨材率（体積比）は50%以下か？ はい　・ いいえ （いずれかに〇）

問2　ネット状の補強材を使用していないか？ はい　・ いいえ （いずれかに〇）

問3　カヌー重量は100kg以上150kg未満か？ はい　・ いいえ （いずれかに〇）

問4　カヌーの部材厚は全て3cm以上か？ はい　・ いいえ （いずれかに〇）

※注意： 使用した主材料について規定違反が疑われる場合、カヌーの一部を削って確認することがあります。

 チェックをつけられなかった項目は、大会までに必ず修正してください。大会当日の検査で、規定違反や、安全や環境に対する重大な問題を指摘された場合は、失格とすることがあります。